

# 京で輝く！女性活躍推進プロジェクト【京都市】

## 地域の実情と課題

【現状】  
京都市では、京都市基本計画「京プラン」に掲げる各取組の実施により人口減少に一定の歯止めはかかっているが、合計特殊出生率が全国平均を下回り、未婚率、平均初婚年齢等が全国平均を上回る状況にある。

【課題】  
今後、少子高齢化、人口減少が急速に進展する中で、個人、企業・組織、社会全体が発展していくためには、長時間労働を前提とした働き方の見直しや女性の活躍推進等の取組が不可欠である。

## 事業の特徴

【京で輝く！女性活躍推進シンポジウム】  
長時間労働の削減等の働き方改革や企業における女性の活躍推進に向け、シンポジウム及びパネルディスカッションを開催

【女子学生向けセミナー】  
結婚や出産などを経ても働き続け、自分の人生の選択肢を増やしていくことをイメージしながら就職活動ができるよう、ロールモデルを招いた講座を実施

【若手女子社員向けセミナー】  
ロールモデルの体験談を聞き、同じ立場にある参加者同士で語り合うことで、今後のキャリアデザインについて考えるセミナーを実施

【男性社員向けセミナー】  
女性活躍の推進には、女性だけでなく男性の意識改革も必要であることから、それぞれが理想とする働き方を実現するために必要なことについて議論を深めるセミナーをワールドカフェ方式で実施

## 事業の効果

【京で輝く！女性活躍推進シンポジウム】  
参加者数については目標に届かなかったが、参加者アンケートの結果では、満足度が9割を超え、参加者の女性活躍推進の意識を高めることができた。

【女子学生向けセミナー】  
業種、年齢、家族構成が異なる社員に話を聞くことで、女子学生はもちろん男子学生にとっても仕事と家庭生活の両立や自分らしく働くことについて考えてもらう機会になった。

【若手女子社員向けセミナー】  
ロールモデルの体験を知るとともに、参加者同士でグルーブトークを行ったことで、仕事と家庭生活の両立や今後のライフプランについての悩みを共有し、客観的に自身のキャリアを把握することができた。

【男性社員向けセミナー】  
シンポジウムの後に実施することで、シンポジウムへの理解を深めるとともに、ワールドカフェ方式で男女が共に話し合うことで、多様な働き方への洞察を深めるとともに相互理解を促すことができた。

## 目的・目標

【目的】  
「長時間労働を前提とした働き方の見直し」や「女性が働きやすい環境づくり」に取り組むため、企業や経営者等の興味と関心を深めることにより、企業における取組を推進するとともに、女性が就業継続していくための意識啓発を目指す。  
また、

【目標】  
・ シンポジウム受講者数 240名 ⇒ 150名（目標達成度:62.5%）  
・ セミナー延べ受講者数 120名 ⇒ 416名（目標達成度:346.7%）

## 連携団体

＜「輝く女性応援京都会議」構成団体＞  
京都府、京都労働局、京都府商工会議所連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都商工会議所、京都経営者協会、一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会女性部連合会、京都商工会議所女性会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロプチミスト京都、国際ゾンタ京都クラブ、公益財団法人大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、公益財団法人21世紀職業財団関西事務所、京都府・市男女共同参画センター

## 今後の課題

事業によっては集客に課題が残るものがあり、より多くの方に参加していただけるよう、次の改善を図る必要がある。

- 事業内容、実施方法、対象の設定等の見直し
- 参加しやすい曜日や時間帯の検討
- 「輝く女性応援京都会議」構成団体等との連携による計画的な広報